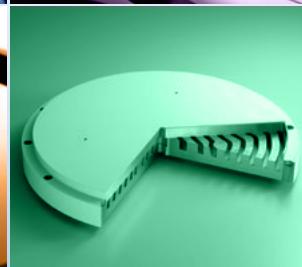


株主の 皆さまへ

2015年度報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで



Contents

ごあいさつ	2
トピックス	4

事業概況

懸架ばね事業	6
シート事業	7
精密部品事業	8
産業機器ほか事業	9

決算情報

連結情報

連結貸借対照表	10
連結損益計算書	11
連結キャッシュ・フロー計算書	11
連結株主資本等変動計算書	11
業績の推移(連結)	12

単独情報

貸借対照表	13
損益計算書	13
株主資本等変動計算書	13
業績の推移(単独)	14

株式概況	15
役員・株価の推移	15
当社概要・グループ概要・株主メモ	裏表紙

ごあいさつ



代表取締役社長

玉村和己

当社グループの2015年度報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済につきましては、個人消費には弱さが見られるものの、良好な企業収益や雇用環境の改善などがあり、景気の回復は緩やかながらも継続しております。

一方、世界経済につきましては、欧州は景気回復の動きが減速しておりますが、米国は雇用環境の回復と好調な個人消費により、拡大基調が堅調に継続しております。アジア地域においては、中国は引き続き景気回復に減速が見受けられ、タイは回復の動きが緩やかなものにとどまっております。その他の地域でも、経済成長に減速が見られるようになっております。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売は軽自動車税の増税の影響などがあり、4,937千台で前期比6.7%の減少となりました。完成車輸出は、4,582千台で前期比2.0%の増加となりました。これにより、国内の自動車生産台数は、9,187千台で前期比4.2%の減少となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連は、データセンター向けは堅調なものの、パソコン向けが減少したことにより、HDD(ハードディスクドライブ)の受注は前期比で減少いたしました。

以上のような経営環境および円安環境のもと、売上高は640,516百万円(前期比6.5%増)となりました。また収益面では、営業利益は35,041百万円(前期比7.2%増)、経常利益は36,111百万円(前期比7.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は21,592百万円(前期比9.6%減)となりました。

なお、当期の期末配当金は、昨年12月にお支払いしました中間配当金と同額として1株につき11円とし、年間では22円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年6月

①国内・海外へさらに積極展開

当社グループは、国内・海外の双方に積極的に事業展開を進めています。

九州に懸架ばね新会社を稼働開始

2014年、福岡県刈田町に新設することを発表したニッパツ九州が、2015年4月に地鎮祭を行い、その後、工場建設を進めてきました。工事は順調に進み、今春から稼働を開始しました。



神事式で行われたニッパツ九州の地鎮祭

重慶日発が創立記念式典

2015年6月、重慶日発が創立記念式典を開催しました。同社は2003年に中国でのシート縫製拠点として設立された深圳日発機電製造を重慶市に移管したことにより、新会社となったものです。同年2月から新会社としてスタートしました。



重慶日発の開所式

カンボジアニッパツが地鎮祭

2015年7月、タイニッパツの子会社として設立したカンボジアニッパツの地鎮祭を行いました。タイニッパツ関係者のほか、地元の関係者などが出席しました。建屋の建設が開始され、2016年の稼働に向けて準備を進めています。

ササヤマと資本提携

当社は、シート部品の金型製造を行う株式会社ササヤマと資本提携しました。安定した金型調達体制を確立し、お客様に高品質・低コストの製品を安定供給する目的で出資したものです。2015年7月、鳥取県知事公邸で、調印式と記者会見が行われました。

群馬、新ウレタン工場の地鎮祭

2015年9月、群馬工場の新ウレタン棟の地鎮祭を行いました。さらなる生産性向上を図るものです。2016年6月から稼働開始しました。

ホリキリが創立80周年

自動車用板ばねなどを生産するグループ会社のホリキリが2015年10月、創立80周年を迎えました。主要な取引先への挨拶を行いました。

NHKインターが本社オフィスを移転

米国の地域本社であるNHKインターナショナルが本社オフィスを移転しました。北米事業の拡大に伴い、広いオフィスに移転したものです。2015年10月から新事務所での業務を開始しました。

ニッパツハンガリーで梁上式

2015年10月、ニッパツハンガリーで、新工場建設の梁上式を行いました。当社関係者のほか地域の方々を招きました。テレビ局も取材に訪れ、副大臣のインタビューや梁が吊り上げられる様子が、夜のニュースで放映されました。同社は現在、2017年下期の量産開始を目指して急ピッチで工事を進めています。



建設現場で行われた梁上式

当社はグループをあげて社会貢献活動を積極的に推進しています

②「ニッパツ三ツ沢球技場」継続と「ニッパツ横浜FCシーガルズ」スタート

当社は「ニッパツ三ツ沢球技場」のネーミングライツを、2016年から新たに5年間、契約を継続しました。また今シーズンから、女子サッカーなでしこリーグ2部の「横浜FCシーガルズ」とスポンサー契約を締結し、チーム名は「ニッパツ横浜FCシーガルズ」となりました。今後、同チームとは、様々な面で相互協力し、スポーツを通じた社会貢献活動を積極的に展開していきます。



活躍が期待される「ニッパツ横浜FCシーガルズ」の選手たち

③トップアスリート2名を雇用

当社は、陸上の三段跳のオリンピック強化選手の宮坂楓、女子サッカー「ニッパツ横浜FCシーガルズ」(前項に関連記事)に加入し、U-23の日本代表にも選ばれた大島瑞稀のトップアスリート2名を雇用しました。今後、2名を中心に、当社の知名度および企業イメージのさらなる向上を目指します。



宮坂楓



大島瑞稀

各地で様々な地域貢献

当社グループは、各地で、その地域に応じた貢献活動を行っています。滋賀工場では、1年2回、障害者福祉施設「さわらび作業所」で、所内の清掃活動を行っています。

また当社本社のある横浜事業所では、昨年に続き、休日を利用して、当社がネーミングライツを契約する「ニッパツ三ツ沢球技場」のある三ツ沢公園とその周辺の清掃活動を行いました。今回は、当社がスポンサーとなった女子サッカーなでしこリーグ2部の「ニッパツ横浜FCシーガルズ」(別途関連記事)の選手2名も一緒に参加し、当社従業員とともに清掃活動を行いました。同チームとは今後も、情報交換しながら、地元・横浜を中心として、積極的に地域貢献活動を進めていく予定です。その他の地域でも、環境美化活動を中心に、地元の行政やNPO法人などと連携し、地域に根ざした活動を展開しています。



滋賀工場：障害者福祉施設を清掃



横浜事業所：「ニッパツ横浜FCシーガルズ」の選手を交えて清掃活動

横浜マラソンでボランティア

2016年3月に開催された「横浜マラソン2016」で、当社とグループ会社の従業員が、昨年に続きボランティア参加しました。当社グループは給水所1カ所を担当し、飲み物や軽食を手渡し、選手を激励しました。市民参加型のイベントとして、定着しつつあり、今後も継続していく予定です。



参加ランナーに声援を送りながら飲み物や軽食を手渡した

NHKインターとNASCO、リトルリーグ支援

2015年8月、米国ペンシルバニア州で、少年野球のリトルリーグ世界大会が開催され、NASCOのあるボーリンググリーン市のチームが代表として出場しました。これにNHKインターナショナルとNASCOが支援しました。これからも継続して地元貢献していきます。



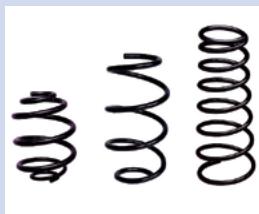
リトルリーグ地元チームの代表がNASCOに来社し、お礼とともに感謝状をいただいた

懸架ばね事業

当連結会計年度における懸架ばね事業は、自動車生産が日本で減少したものの、北米で増加したことにより、売上高は124,511百万円（前期比2.3%増）、前年度発生した北米での増産対応費用が減少したことにより、営業利益は12,062百万円（前期比37.4%増）となりました。

主要
製品

- 板ばね
- コイルばね
- スタビライザ
- トーションバー
- スタビライザリンク
- スタビリンカーほか



コイルばね

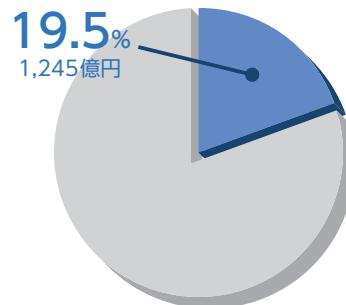


スタビライザ

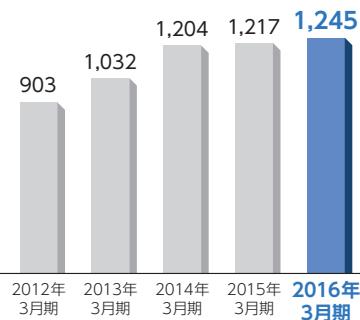


テーパーリーフスプリング

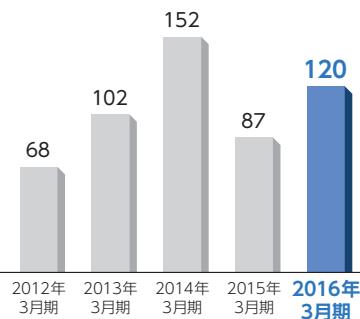
● 懸架ばね事業の売上高・構成比



● 売上高の推移 (億円)



● 営業利益の推移 (億円)



シート事業

当連結会計年度におけるシート事業は、主要客先の自動車生産が国内外で増加したことにより、売上高は296,054百万円（前期比11.2%増）となりましたが、受注車種構成の変化等により、営業利益は9,824百万円（前期比11.2%減）となりました。

主要製品

- 自動車用シート
- シート用機構部品
- 内装品ほか



乗用車用スポーツシート

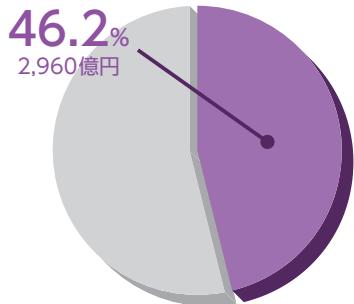


NHKシーティングオブアメリカの自動車用シート組立てライン

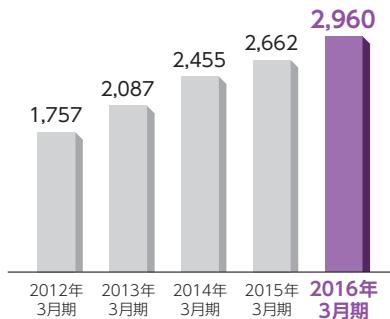


タイニッパツの自動車用シート組立てライン

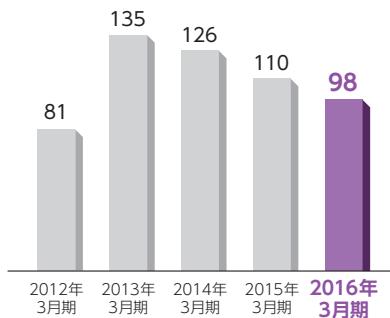
● シート事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)



精密部品 事業

当連結会計年度における精密部品事業は、海外での自動車生産の増加と為替効果により、売上高は142,943百万円（前期比4.3%増）、営業利益は10,074百万円（前期比15.7%増）となりました。

主要
製品

- HDD用サスペンション
- HDD用機構部品
- 線ばね
- 薄板ばね
- 液晶・半導体検査用プローブユニット
- ファスナー(ねじ)
- 精密加工品ほか



HDD用サスペンション

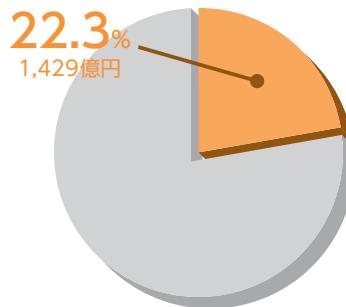


HDD用機構部品



各種精密部品

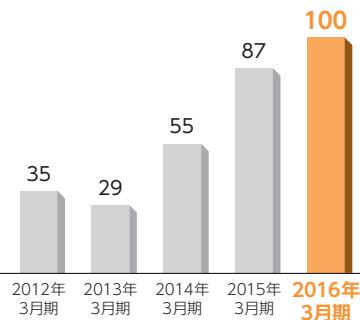
● 精密部品事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)





産業機器 ほか事業

当連結会計年度における産業機器ほか事業は、国内での売上増加により、売上高は77,006百万円（前期比0.8%増）、一部事業での費用増加により、営業利益は3,080百万円（前期比25.7%減）となりました。

主要
製品

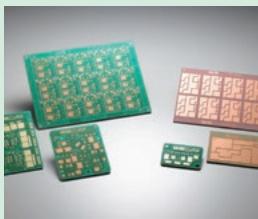
- ろう付製品
- セラミック製品
- ばね機構品
- 配管支持装置
- 駐車装置
- ポリウレタン製品
- 金属ベースプリント配線板
- セキュリティ製品
- 照明器具
- ゴルフシャフトほか



ろう付製品

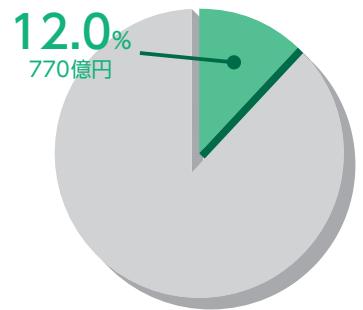


テンションバランス

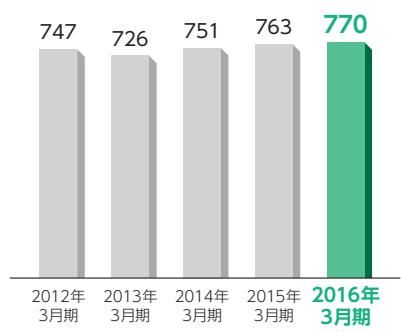


金属ベースプリント配線板

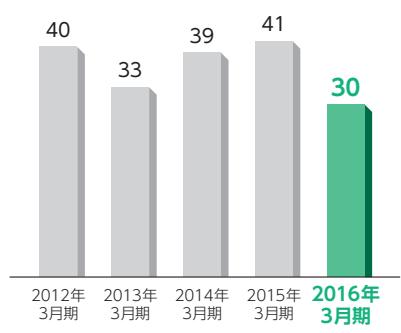
● 産業機器ほか事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)



決算情報 (連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2016年3月期	2015年3月期	科目	2016年3月期	2015年3月期
資産の部	509,810	529,899	負債の部	239,972	255,006
流動資産	276,834	288,616	流動負債	174,407	184,381
現金及び預金	72,553	83,701	支払手形及び買掛金	81,660	87,626
受取手形及び売掛金	133,422	135,432	電子記録債務	29,561	30,229
棚卸資産	43,286	43,649	短期借入金	9,145	9,062
繰延税金資産	5,135	4,974	その他	54,039	57,463
その他	22,570	20,886	固定負債	65,565	70,624
貸倒引当金	△133	△28	社債	—	10,000
固定資産	232,976	241,282	転換社債型新株予約権付社債	11,268	12,017
有形固定資産	145,636	147,287	長期借入金	16,917	15,439
建物及び構築物	48,121	49,473	リース債務	481	750
機械装置及び運搬具	46,000	46,874	繰延税金負債	7,968	13,067
土地	31,483	31,751	退職給付に係る負債	24,216	15,233
リース資産	494	803	その他	4,713	4,116
建設仮勘定	12,026	10,138	純資産の部	269,837	274,893
その他	7,510	8,244	株主資本	232,090	215,505
無形固定資産	4,307	5,017	資本金	17,009	17,009
投資その他の資産	83,032	88,978	資本剰余金	19,404	19,308
投資有価証券	61,031	71,821	利益剰余金	196,477	179,985
長期貸付金	8,830	3,947	自己株式	△801	△798
繰延税金資産	5,438	4,763	その他の包括利益累計額	25,152	47,149
その他	8,472	9,009	その他有価証券評価差額金	21,513	27,247
貸倒引当金	△740	△563	為替換算調整勘定	9,442	19,063
			退職給付に係る調整累計額	△5,803	838
			非支配株主持分	12,594	12,238
資産合計	509,810	529,899	負債純資産合計	509,810	529,899



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2015年4月 ~2016年3月	2014年4月 ~2015年3月
売上高	640,516	601,434
売上原価	561,668	526,436
販売費及び一般管理費	43,806	42,295
営業利益	35,041	32,702
営業外収益	5,301	8,708
営業外費用	4,230	2,335
経常利益	36,111	39,075
特別利益	—	153
特別損失	2,539	2,037
税金等調整前当期純利益	33,571	37,191
法人税等	10,257	11,758
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,721	1,559
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,592	23,873

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2015年4月 ~2016年3月	2014年4月 ~2015年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,674	44,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,127	△24,433
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,672	△5,264
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△5,075	5,906
現金及び現金同等物の 増減額(減少は△)	△11,200	21,061
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	384
現金及び現金同等物の 期首残高	83,439	61,993
現金及び現金同等物の 期末残高	72,238	83,439

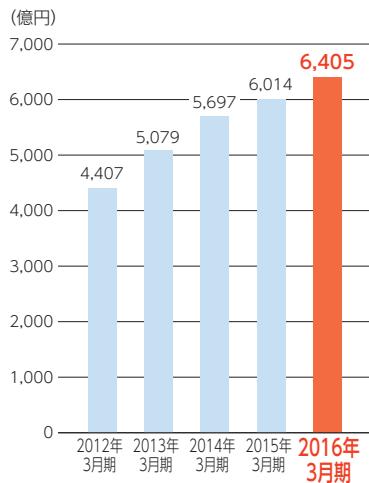
連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

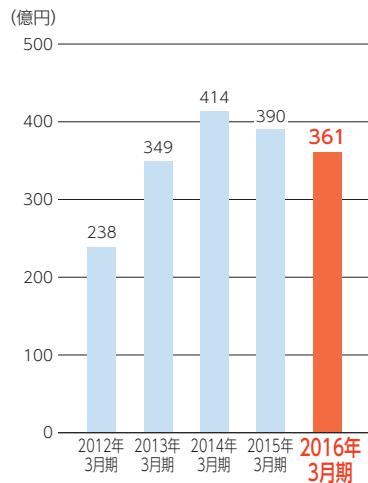
	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
2015年4月1日残高	17,009	19,308	179,985	△798	215,505	27,247	19,063	838	47,149	12,238	274,893
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△5,100		△5,100						△5,100
親会社株主に帰属する当期純利益			21,592		21,592						21,592
自己株式の取得				△2	△2						△2
自己株式の処分		0		0	0						0
非支配株主との取引に係る親会社の 持分変動		95			95						95
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△5,733	△9,621	△6,641	△21,996	355	△21,640
連結会計年度中の変動額合計	—	95	16,491	△2	16,585	△5,733	△9,621	△6,641	△21,996	355	△5,055
2016年3月31日残高	17,009	19,404	196,477	△801	232,090	21,513	9,442	△5,803	25,152	12,594	269,837

業績の推移 (連結)

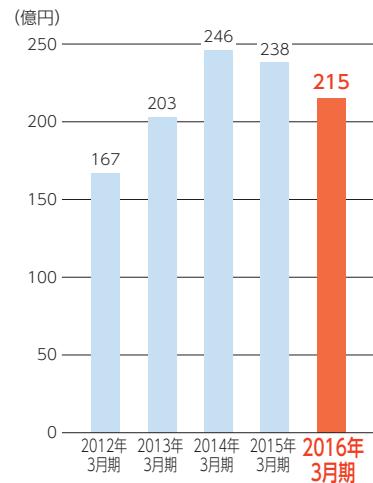
売上高



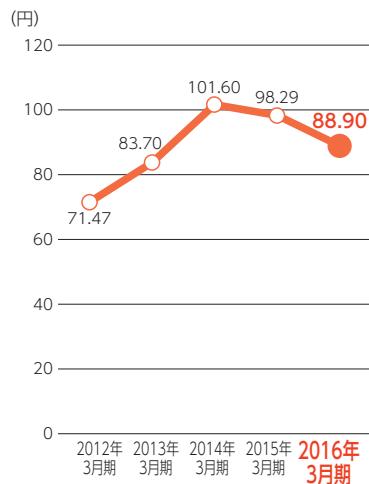
経常利益



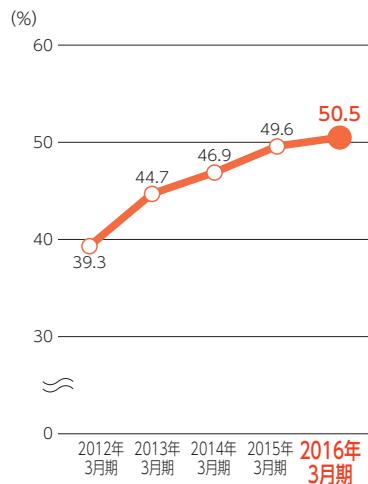
親会社株主に帰属する当期純利益



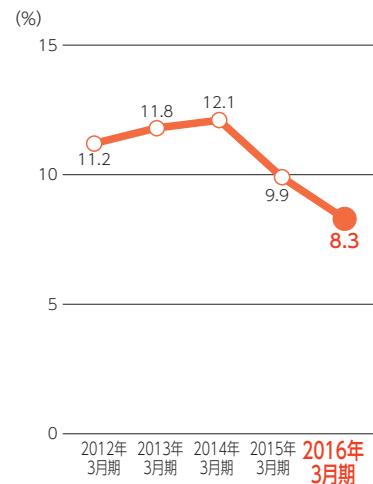
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本比率



ROE (自己資本当期純利益率)



決算情報 (単独)



貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	2016年3月期	2015年3月期
資産の部	329,194	336,906
流動資産	149,836	153,964
固定資産	179,358	182,941
資産合計	329,194	336,906
負債の部	168,508	179,132
流動負債	128,960	126,992
固定負債	39,547	52,139
純資産の部	160,686	157,774
株主資本	139,895	131,892
評価・換算差額等	20,790	25,881
負債純資産合計	329,194	336,906

損益計算書

(単位: 百万円)

科目	2015年4月 ~2016年3月	2014年4月 ~2015年3月
売上高	271,715	266,650
売上原価	237,222	231,890
販売費及び一般管理費	19,168	18,388
営業利益	15,324	16,371
営業外収益	8,645	14,172
営業外費用	3,413	1,170
経常利益	20,556	29,373
特別利益	—	153
特別損失	3,073	601
税引前当期純利益	17,482	28,925
法人税、住民税及び事業税	4,050	6,296
法人税等調整額	326	996
当期純利益	13,106	21,632

株主資本等変動計算書

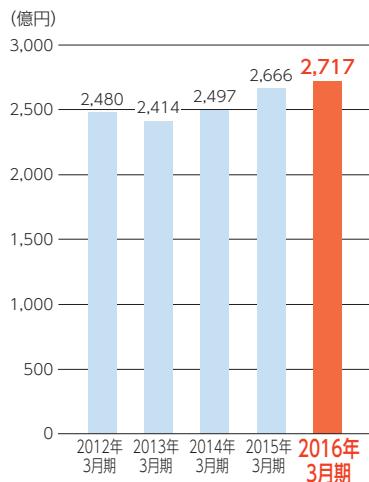
(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2015年4月1日残高	17,009	19,314	96,280	△712	131,892	25,881	157,774
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△5,100		△5,100		△5,100
当期純利益			13,106		13,106		13,106
自己株式の取得				△2	△2		△2
自己株式の処分		0		0	0		0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△5,091	△5,091
事業年度中の変動額合計	—	0	8,005	△2	8,003	△5,091	2,912
2016年3月31日残高	17,009	19,314	104,285	△714	139,895	20,790	160,686

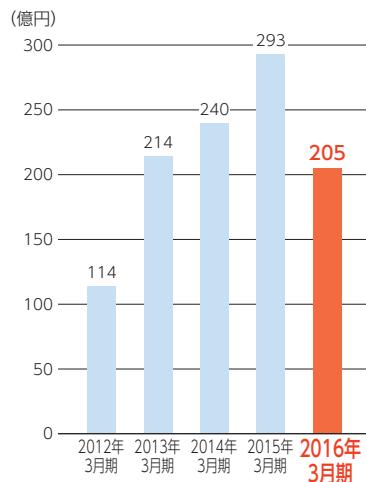
業績の推移 (単独)



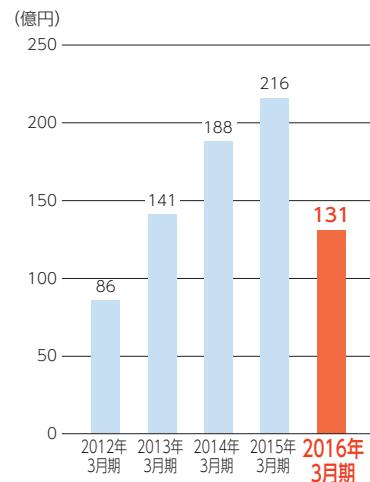
売上高



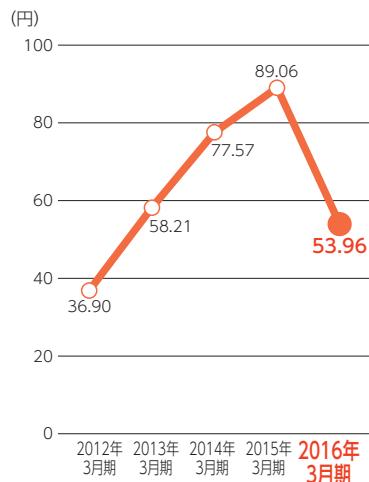
経常利益



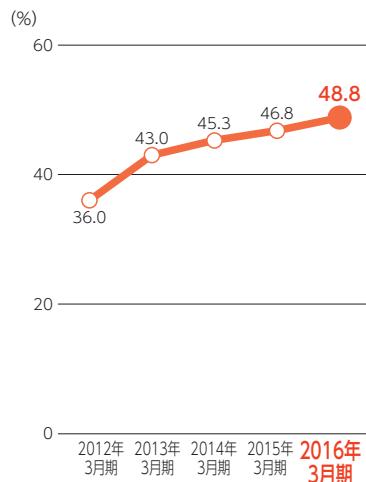
当期純利益



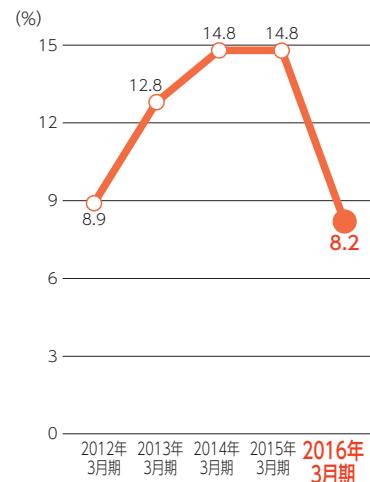
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本比率



ROE (自己資本当期純利益率)



株式概況

役員・株価の推移

株式の状況

(2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	11,560名

大株主

(2016年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	30,892	12.72
双日株式会社	11,346	4.67
株式会社メタルワン	11,118	4.58
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 神戸製鋼所口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	9,504	3.91
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	8,681	3.57
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,753	2.37
株式会社横浜銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	5,718	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,622	2.31
全国共済農業協同組合連合会 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	5,184	2.13
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	5,156	2.12

※持株比率は、自己株式(1,174千株)を控除して計算しております。

株式の分布状況

(2016年3月31日現在)

所有者別株数比率

個人・その他 9.4% (自己株式を含む)
外国人 31.8%
その他国内法人 14.6%
金融商品取引業者 1.1%



中間配当

2015年11月9日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月4日、1株につき11円の中間配当を実施いたしました。

取締役・監査役

(2016年6月28日現在)

代表取締役社長	玉村 和己	取締役 末 啓一郎
代表取締役副社長	糸井 孝夫	取締役 田中 克子
代表取締役副社長	畑山 薫	常勤監査役 清水 健二
代表取締役副社長	嘉戸 廣之	常勤監査役 平間 恒彦
取締役専務執行役員	本多 明廣	監査役 小森 晋
取締役専務執行役員	茅本 隆司	監査役 立花 一人
取締役専務執行役員	柴田 柳一	

執行役員(取締役兼務者を除く)

(2016年6月28日現在)

専務執行役員	梅村 太郎	執行役員 長井 憲次
常務執行役員	風間 俊男	執行役員 藤原 哲哉
常務執行役員	杉山 徹	執行役員 佐伯 俊則
常務執行役員	星野 秀一	執行役員 高村 典利
常務執行役員	貫名 清彦	執行役員 小野 達朗
常務執行役員	榎本 英人	執行役員 大河原隆広
常務執行役員	増田 耕	執行役員 青柳 俊之
常務執行役員	大竹 一彦	執行役員 関 幸裕
常務執行役員	杉浦 啓修	執行役員 鈴木 潤一
執行役員	坂本 博樹	執行役員 千野 智幸
執行役員	吉村 秀文	執行役員 立川 俊洋
執行役員	尾山 二郎	執行役員 澁谷 祐司
執行役員	上村 和久	

当社株価・売買高の推移



当社概要 (2016年3月31日現在)

設立	1936年(昭和11年)―芝浦スプリング製作所
創立	1939年(昭和14年)9月8日
資本金	170億956万6,312円
従業員数	4,866名 ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
事業所	【本社】 横浜 【営業拠点】 横浜、北関東(群馬)、浜松、名古屋、大阪、 広島、福岡 【工場】 横浜(ばね/シート)、滋賀、群馬、豊田、厚木、 伊那、駒ヶ根(DDS/産機)、伊勢原、野洲

グループ概要 (2016年3月31日現在)

従業員数	20,757名 ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
国内関連会社	33社
	うち連結子会社 17社
	持分法適用非連結子会社 2社
	持分法適用関連会社 2社
海外関連会社	51社
	うち連結子会社 18社
	持分法適用非連結子会社 2社
	持分法適用関連会社 3社

日本発条株式会社

〒236-0004 横浜市金沢区福浦三丁目10番地
電話 045-786-7511 <http://www.nhkspg.co.jp/>

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日
・定時株主総会 3月31日
・配当金受領株主確定日 3月31日および
中間配当を行う場合は9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-7111(通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<http://www.nhkspg.co.jp/>

【お知らせ】

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問合せください。三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次いたします。なお、特別口座に記載された株式を売却するためには証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振替えるお手続きが必要となります。ただし、下記3.にご説明します単元未満株式(100株未満の株式)については、証券口座に振替をせずに売買することが可能です。これについては三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- 市場で売買できない単元未満株式につきましては、当社に対してご所有の株式を時価で売却すること(買取請求)、または単元株となるまでの不足株式数を当社から購入すること(買増請求)ができます。いずれのお手続きも口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記載された株式については、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



この冊子は植物油インキと再生紙を使用しています。